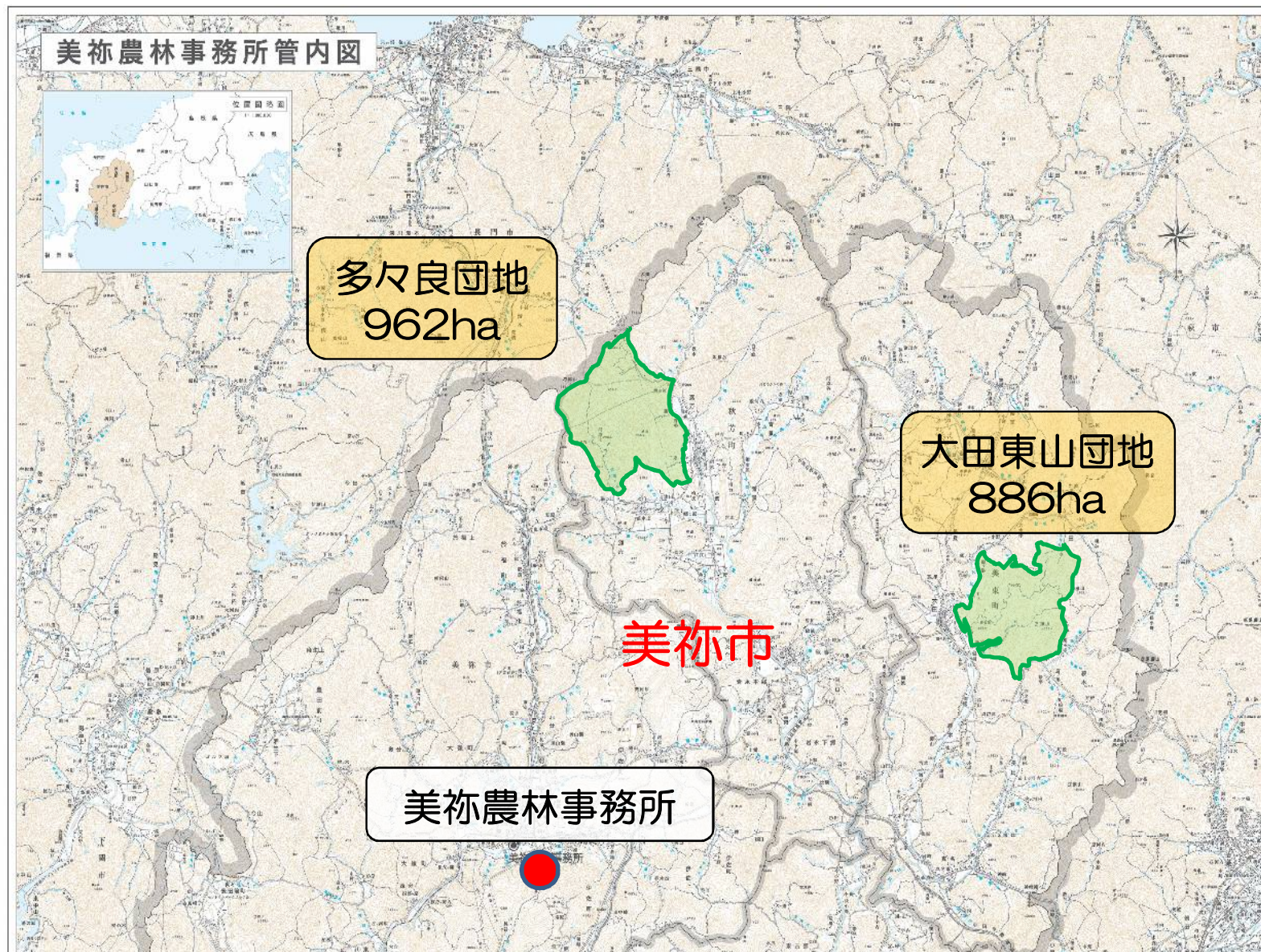




# 市有林を核とした森林 整備加速化団地の取組 (大田東山団地を例に)

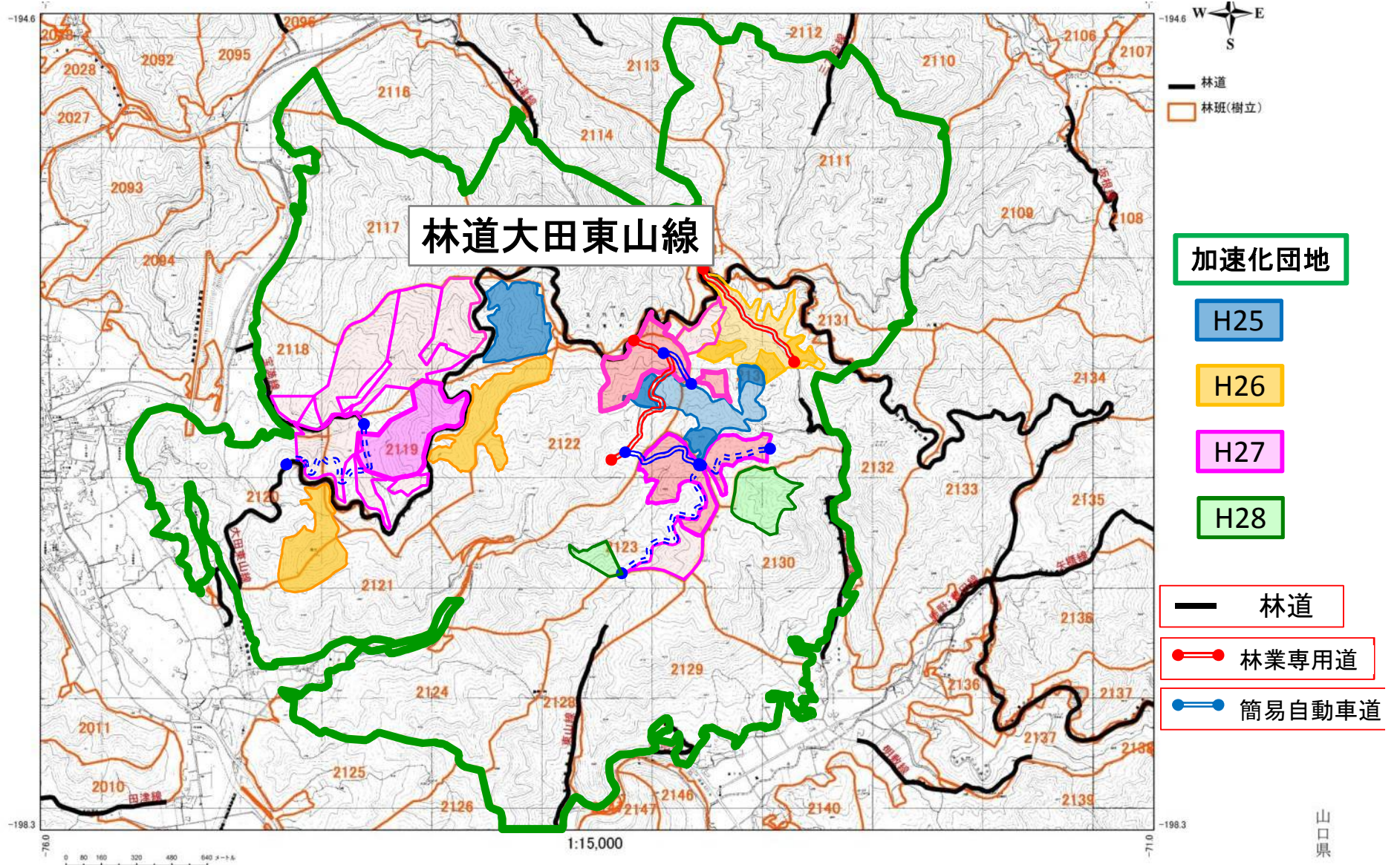
美祢市建設経済部農林課 末永 浩己  
山口県美祢農林事務所 本田 聡

# 1 森林整備加速化団地の位置





# 森林整備加速化団地(大田東山)概要図



この森林計画図(簿)は、森林法第5条に基づく地域森林計画を樹立するために、必要な森林資源の把握を目的として作成したもので、個々の森林の境界、地番、所有者等を確認の上、作成したものではありません。したがって、個々の森林の所有権、所有界、面積等土地に関する諸権利及び、立木竹の評価について証明するものではありません。

## 2 大田東山団地の資源構成

人工林のうち  
1/3が市有林

団地名	森林面積	人工林	天然林等	人工林率
大田東山	886ha	633ha	253ha	71%
人工林の内訳	市有林	森林総研	公社	個人等
	209ha	11ha	20ha	393ha

### 3 路網の整備状況

単位:m

区 分	計画	H25	H26	計	進捗率
林業専用道	1,250	650	840	1,490	119%
森林作業道	30,880	6,565	1,445	8,010	26%
自動車道	300	640		640	213%
機械道	30,580	5,925	1,445	7,370	24%
合 計	32,130	7,215	2,285	9,500	30%

## 4 施業の実施状況

区 分		計画	H25	H26	合計	進捗率
搬出間伐 (ha)		160	8.5	17.6	26.1	16%
更新伐 (ha)		20	10	10	20	100%
再造林 (ha)		6	3	3	6	100%
素材 生産量 (m <sup>3</sup> )	間伐	8,000	766	1,413	2,179	27%
	更新伐	2,000	1,238	1,025	2,263	113%
	合計	10,000	2,004	2,438	4,442	44%





## 5 美祢市の取り組み

### (1) 林業専用道の開設

- ① 団地内の既設林道と施業予定箇所を考慮して林業専用道の開設箇所を検討
- ② 開設単価をm当たり25千円以内に抑えるため、既設道の拡幅で開設
- ③ 開設に当たっては、美祢農林事務所が指導・助言



## (2) 林業専用道の開設実績

年度	路線名	幅員	延長	事業費
H25	薬王寺線	3.5m	650m	16,223千円 (25千円/m)
H26	足河内線	3.5m	840m	20,995千円 (25千円/m)
計			1,490m	37,218千円

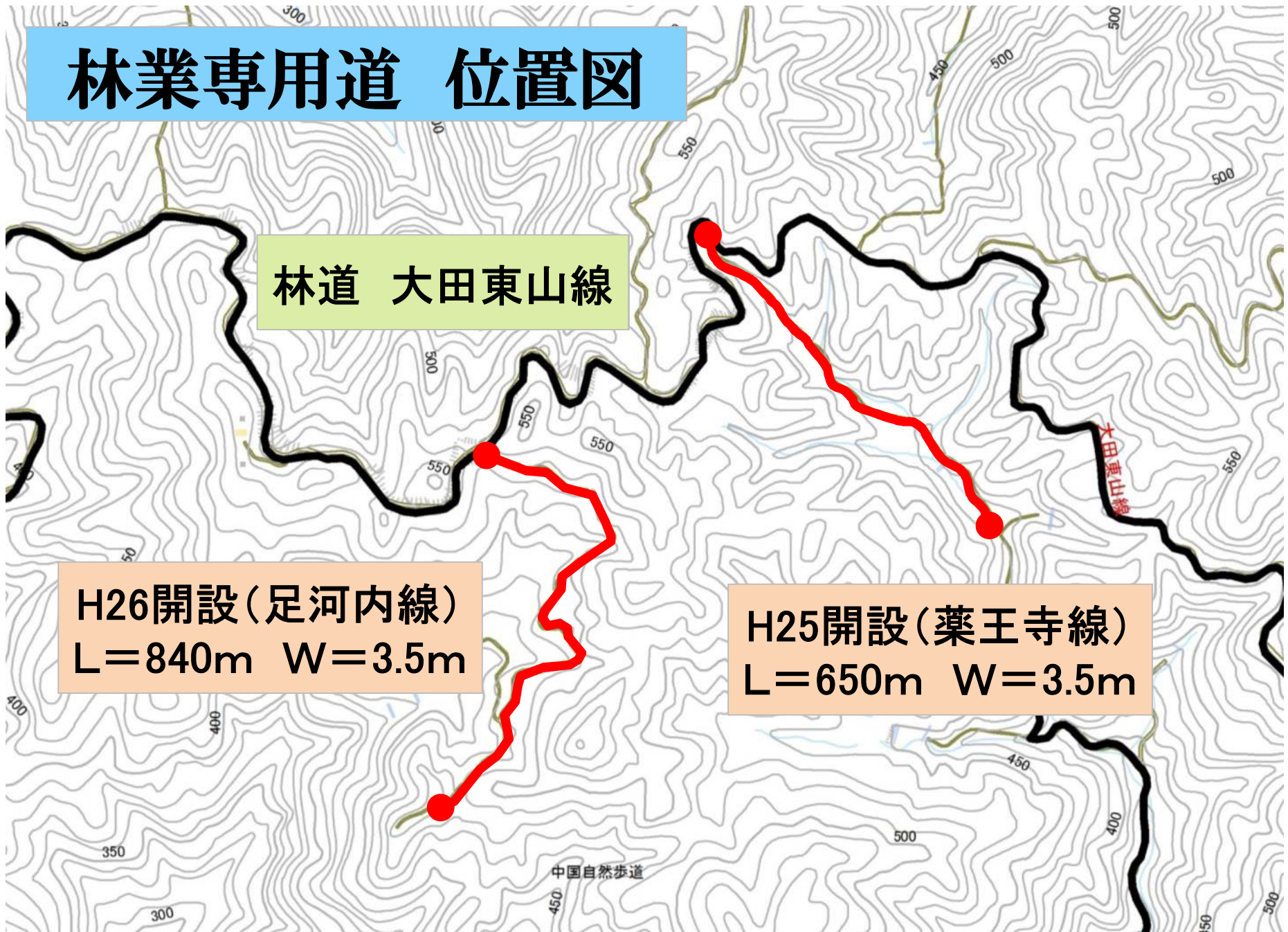


# 林業専用道 位置図

林道 大田東山線

H26開設(足河内線)  
L=840m W=3.5m

H25開設(薬王寺線)  
L=650m W=3.5m





### (3) 林業専用道の施工状況

施工前



施工前



### (3) 林業専用道の施工状況

敷砂利



コンクリート舗装



# (3) 林業専用道の施工状況

排水施設



排水施設



### (3) 林業専用道の施工状況

土場(終点)



土場(残土処理場)

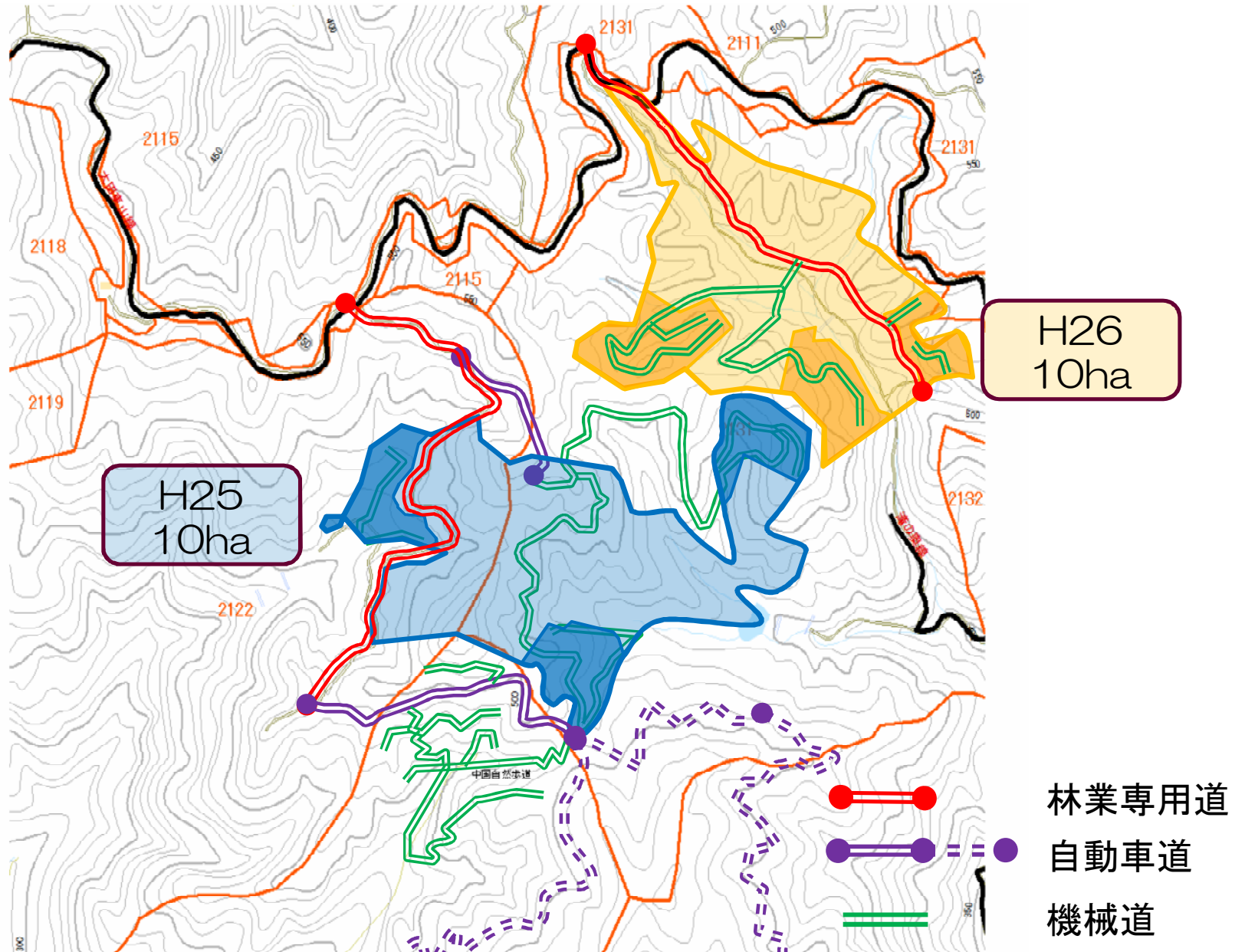


## (4) 林業専用道開設に当たっての課題

- ① 定額単価の25千円／m以内での新規開設は困難
- ② 市町担当職員に林道の設計・施工管理ができる技術者が必要
- ③ 利用区域内の施業予定地の確保  
(線形、作業ポイント、B／Cの検討)



# (5) 更新伐の実績





## (5) 更新伐の実績

年度	区域面積	実面積	素材生産量
H25	10ha	3ha	用材 1,203m <sup>3</sup> バイオマス 35m <sup>3</sup>
H26	10ha	3ha	用材 965m <sup>3</sup> バイオマス 60m <sup>3</sup>
計	20ha	6ha	用材 2,168m <sup>3</sup> バイオマス 95m <sup>3</sup>

## (5) 更新伐の実績

単位:m<sup>3</sup>

年度	用材		バイオ	合計
	スギ	ヒノキ		
H25	922	281	35	1,238
H26	755	210	60	1,025
計	1,677	491	95	2,263



## (6) 更新伐の収支実績

単位：千円

年度	生産経費	補助金	木材代	収益
H25	7,035	3,712	4,770	1,447
H26	6,588	4,158	3,359	929
計	13,623	7,870	8,129	2,376

# (7) 更新伐の施工状況

施工前



施工後



## (8) その他の実績

区 分	H25	H26
搬出間伐	15.79ha	15.92ha
うち団地内	15.79ha	15.92ha
森林作業道	4,289m	3,100m
うち団地内	2,153m	3,100m

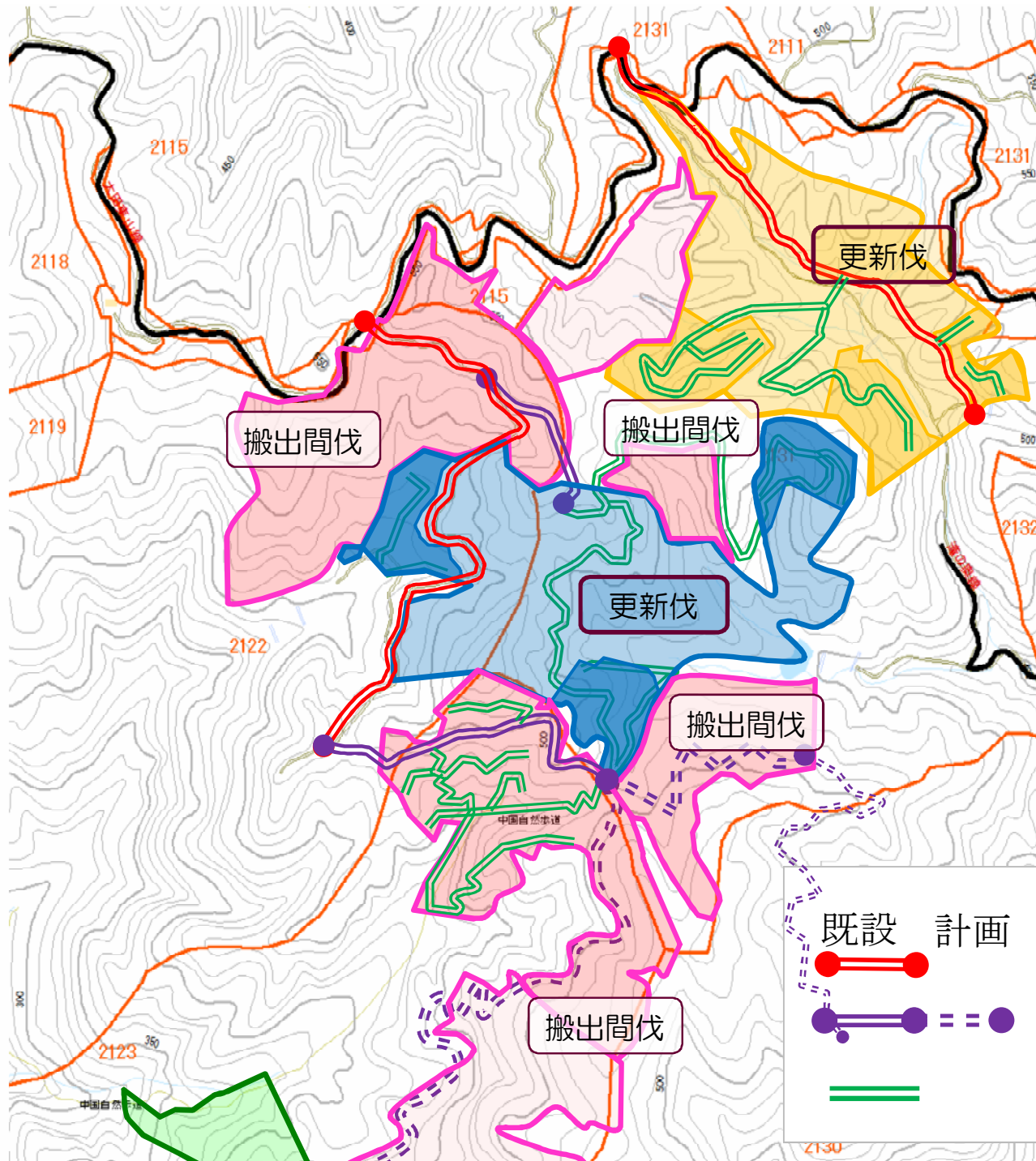




## 6 取組の成果と反省点

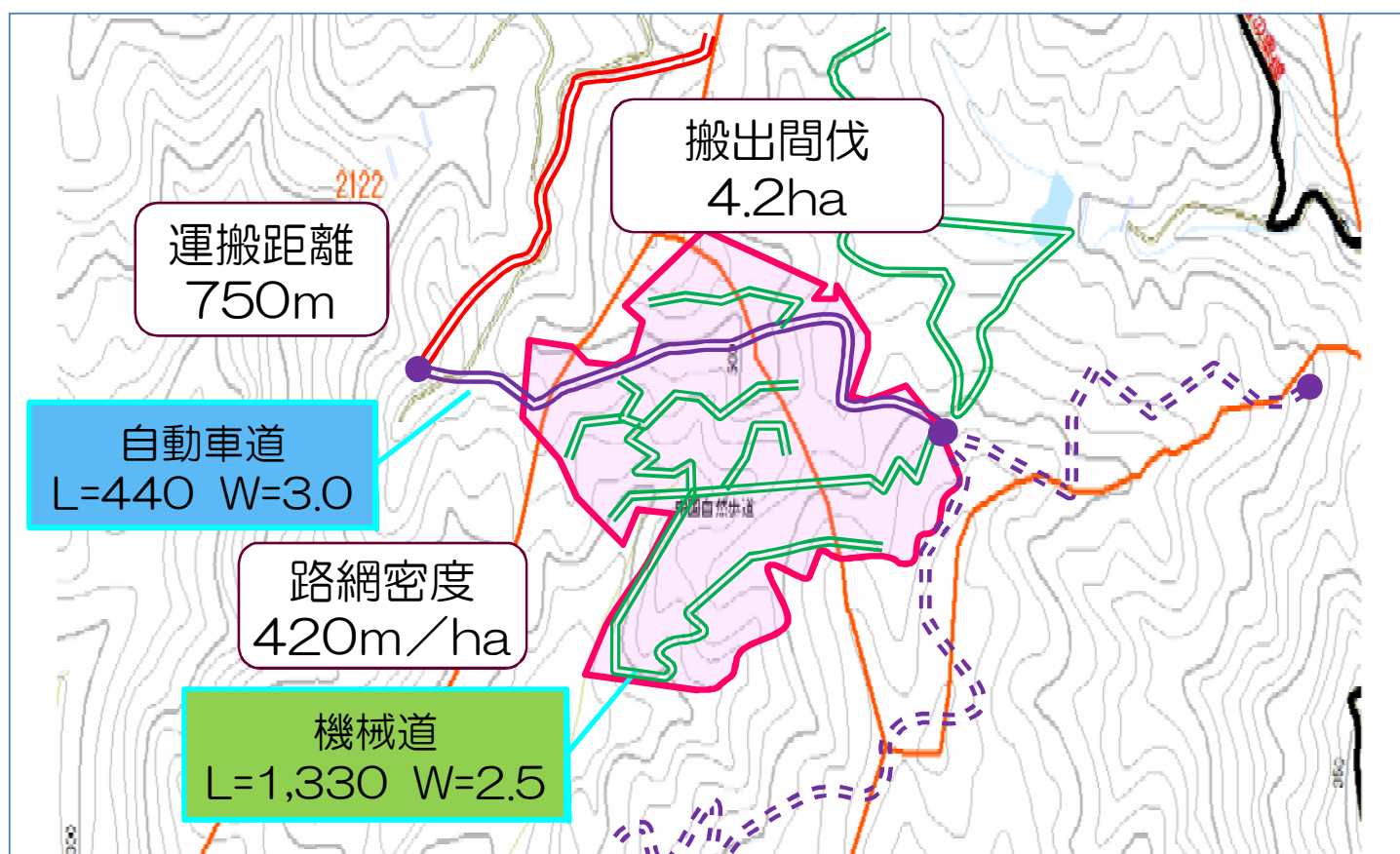
### (1) 成果

- 林業専用道と森林作業道の開設により、搬出間伐・更新伐などの施業集約化が実現
- 路網整備により周辺の私有林の所有者の施業意欲が向上



## (2) 反省点1

# 森林作業道の開設計画が適切でなかったケース







## (2) 反省点2

搬出間伐後の残存木の形状比が高く、樹幹長率が極めて低い林分があった。





## (2) 反省点2

- 今後の肥大成長も主伐収益も期待薄
  - 風害や雪害のリスク
- 皆伐(更新伐)で実施すべきであった。



## 7 今後の展望

美祢市に隣接する宇部市と下関市に森林バイオマス加工施設が稼働しており、従来の製材用材や合板用材に加えて、森林バイオマスの安定供給が求められている。





## 7 今後の展望

- 現在の取引価格で安定供給をしていくために、搬出間伐一辺倒ではなく、皆伐も推進
- 林業専用道など車道の整備やストックポイントの整備等による輸送コストの低減



おわりに...

「今こそ間伐」から2年...

木材の安定供給と森林資源の循環を  
両立していくためには、間伐に加えて、  
皆伐＋再造林(更新伐)による循環型林  
業への移行が必要



**林業の成長産業化の実現**